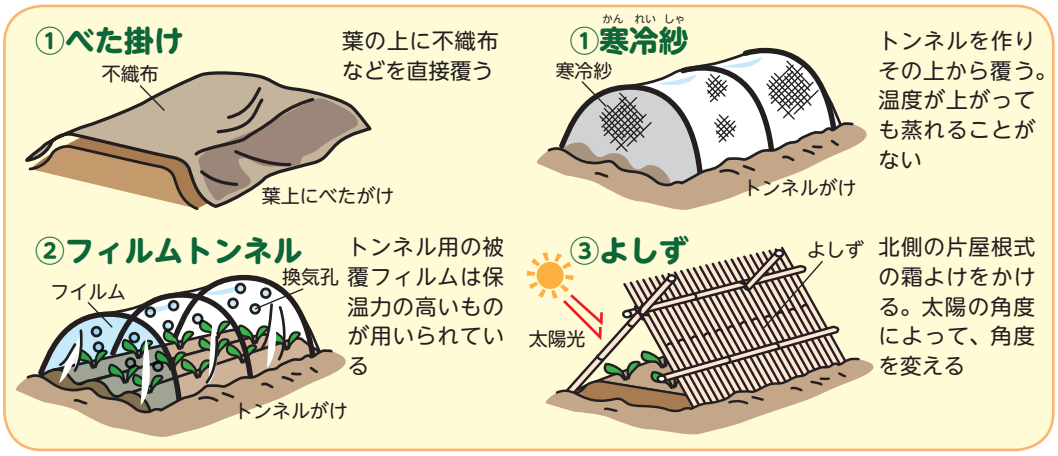
防寒対策について　防寒資材を使い分けて冬場の収穫を楽しみましょう

露地栽培の野菜は冬になると低温や降霜のために、生育が止まったり、寒害を直接受けたりして、一部の種類を除いては良品が取れなくなってしまいます。自然条件の制約を避けて野菜作りの楽しみを広げるには、冬場の防寒資材が大変役立ちます。防寒用の資材としては①不織布や寒冷紗などの通気性資材②プラスチックフィルム類③天然の竹笹やよしず―などがあります。

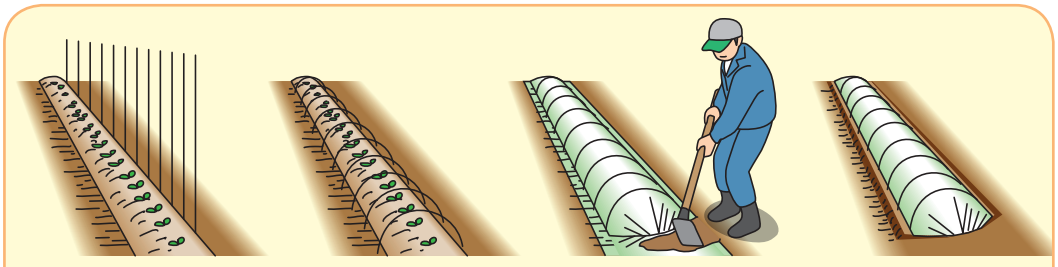


①は、秋のうちから収穫を続けている野菜（たとえばシュンギク、ホウレンソウ、小松菜など）で寒さが厳しくなっても収穫を続けたいとき、あるいは霜柱で浮き上がったりするのを防ぐときに好都合です。この資材は、被覆したまま灌水（かんすい）もすることができます。また、早春の種まき後の被覆で発芽を促進するなどの効果があります。

②は、被覆することにより積極的に温度を高められるため、早春に種まきするコカブ、ニンジン、ホウレンソウの発芽と生育促進に効果的です。日中の温度が上がりすぎると軟弱化してしまいますので、晴天日には換気し、28～30度以上には昇温しないよう管理する必要があります。換気孔のあるフィルムは、換気の手間が省けます。

③は、昔からある方法で寒風を避ける効果や霜害を防止するのに役立ちます。

◇ビニールトンネルの作り方



①定位置にひもを張り竹やプラスチックなどの骨材を等間隔にさし込む。

②畝（うね）をまたぐように骨材を曲げ、もう片方の列にさす。

③被覆ビニールを支柱にかぶせ、ビニールの端を埋め込み固定する。

④ビニールのもう一方の端をかけて固定する。

営農よろず相談のご案内

「営農よろず相談」では、
・農作物の栽培方法に関すること
・病害虫の防除に関すること
などを中心にご相談を受け付けております。
何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひ一度ご利用ください。

● 電話番号
(097)544-6462（むよろず）
※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。

● 受付時間
月・水・金曜日（祝日は除く）8：30～17：00
（受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります）

● 設置場所　営農部

栽培について
営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。
種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。